

東鷺宮病院FAX通信



第7号 (平成22年4月28日)

～血管外科のご紹介～

当院では血管外科疾患の診断および治療を行っています。

1、下肢閉塞性動脈硬化症

ABPI (下肢・上肢血圧比) や SPP (皮膚還流圧) を測定し、エコー・CTにて動脈病変の評価を行います。

基本的に血管内治療を第一選択としていますが、糖尿病や透析の患者さんなど高度の石灰化を有する病変の場合は、外科的バイパス手術を行います。

バイパス手術は適応があれば、下腿以下の Distal bypass まで行っています。

2、下肢静脈瘤

下肢静脈瘤に対しては、症例に応じて硬化療法から穿通枝処理・ストリッピング術などの手術療法を行っています。とくに網状静脈瘤は硬化療法のよい適応です。

3、シャント手術

透析患者さんのシャント手術を行っています。透析導入からシャント閉塞まで対応可能ですのでご相談ください。

医療法人三和会 東鷺宮病院
外科・血管外科 武内謙輔
循環器・血管外科 水原章浩

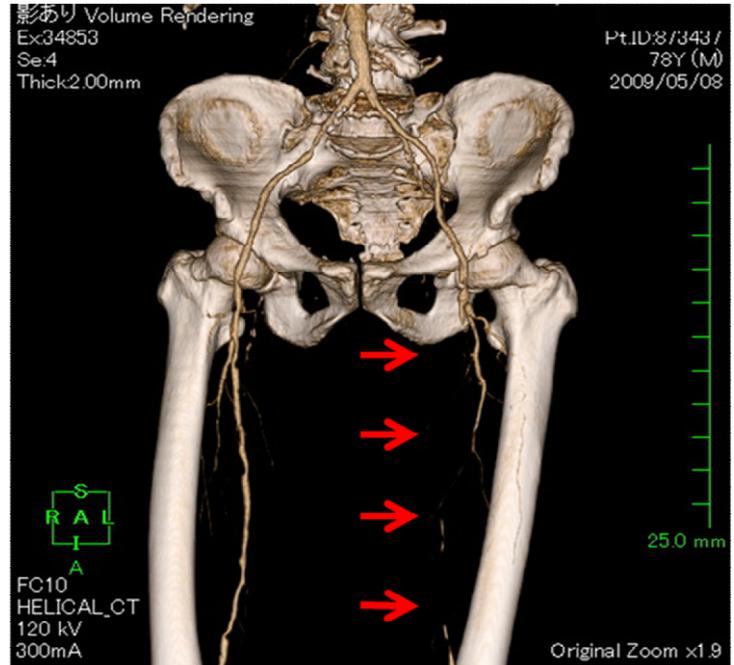
mizuaki8181@msn.com

埼玉県北葛飾郡鷺宮町桜田3-9-3

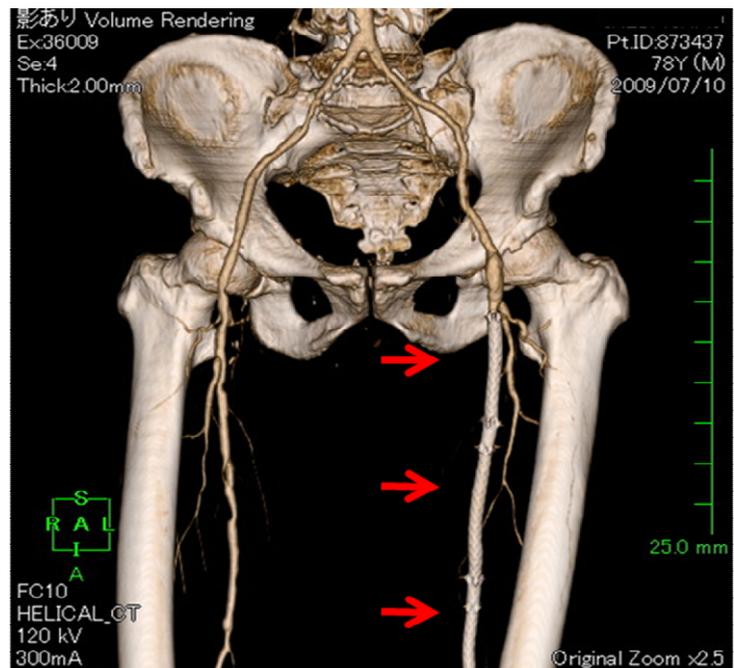
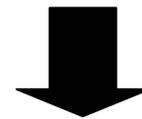
TEL : 0480-58-2468

FAX : 0480-58-9580

閉塞性動脈硬化症に対する 血管内治療



治療前：左浅大腿動脈は起始部より大腿下部まで閉塞している。



治療後：左浅大腿動脈は良好に開存し、歩行時の下肢痛は改善した。